

手作り 被爆ピアノコンサート

今も世界中のどこかで戦争が起き、多くの子どもたちが犠牲になっています。その現実から目をそらすなさい。8月1日、

その後は大阪、三重、静岡、鳥取、岡山など全国各地で演奏会を開いてきました。山田さんの周りには活動に共感したボランティアが集

山田紗耶加さん

大阪府立国際児童文学館で開かれた「被爆ピアノ平和コンサート」で山田紗耶加さん（79年短大卒・音楽専攻）は満席の客席に向かってこう語りかけました。広島を浴びながら奇跡的によみがえった被爆ピアノ。その音色は平和を願う「魂の音」。

平和訴える魂の音



まり手作りのコンサートが実現。出演者は歌のお姉さん・雑古伊津美さん（86年大卒・ソプラノ）をはじめ総勢60人に上りました。

この後、子どもコーラス「ポップコーン」や女声コーラスの皆さんも登場。山田さん作詞作曲「ごめんなさい」宇根利枝さんの歌や「千の風になって」などを歌い、コンサートを盛り上げました。

絵本「ミサコの被爆ピアノ」（松谷みよ子作）の朗読で始まったコンサートでは山田さんが「綿のほうし」、F・シヨパン「ノクターン20番 遺作」などを演奏。ヴォーカルの雑古さんはアンジェラ・アキの「手紙〜拝啓十五の君へ」を熱唱しました。ステージにはフリージャーナリスト、西谷文和さんの写真「イラクの子どもたち」がスライドで映し出され、聴衆は今起きている現実の姿を目の当たりに。

コンクール

敬称略

■第3回大阪府立青少年会館ジュニアクラシック音楽コンクール 大学生部門金管楽器の部 3位 森美鈴（大3・トランペット）=4月6日、大阪府立青少年会館。コンクール実行委員会主催



森美鈴

■第23回アジア国際文化芸術フェスティバル ピアノデュオ 金賞 中尾恵、松尾美保（90年大卒・ピアノ）=5月26日、ザ・フェニックスホール。中国音楽理事会主催



中尾恵



松尾美保

■第3回横浜国際音楽コンクール アンサンブル部門連弾の部 2位 中尾恵、松尾美保=8月27日、横浜市磯子公会堂。横浜国際音楽コンクール実行委員会主催



西垣良美

■第3回神戸新人音楽賞コンクール 管弦打楽器部門 最優秀賞 西垣良美（09年大卒・マリンバ）▽声楽部門 優秀賞 大崎友美（09年大専修・ソプラノ）、高木未知子（06年大専修・ソプラノ）=6月21日、新長田勤労市民センター・ピフレホール。神戸芸術文化会議など主催



大崎友美



高木未知子

■第3回全日本芸術コンクール ヴァイオリンの部 1位 土井美佳（09年大卒・ヴァイオリン）▽2位 高崎真央（大2・ヴァイオリン）=8月10日、神戸市産業振興センター・ハーバーホール。全日本芸術コンクール実行委員会主催



土井美佳



高崎真央

■09年武生作曲賞 入選 前田恵実（07年大卒・作曲）=入選作品「shizuku」は8月25日、福井県越前市文化センターで初演。武生国際音楽祭推進会議など主催



前田恵実

音楽療法 実習に8人



無反応の怖さ経験

音楽療法の学外実習が8、9月に豊中市内の坂本病院で行われました。今年の実習生は短大専攻科の寶角真季さん（ピアノ）、中井美緒さん（クラリネット）ら8人。同病院の那須貴之・音楽療法科長の指導のもと、2つのグループに分かれて実施しました。実習生は「ふるさと」や「瀬戸の花嫁」「上を向いて歩こう」など、患者が一度は口ずさんだことのある唱歌や歌謡曲を歌い、心の扉を開こうとします。しかし、患者の多くは言語や記憶に障害のあるお年寄り。実習生は無反応の怖さ、不安を初めて体験します。「皆さんは言葉に頼りがち。音楽が言葉。音楽を通して患者の心を開いてください」と那須科長。初日、2日目はほとんど何もできなかった実習生たち。3日目には患者にも変化が。音楽療法士を目指す王鞍菜津美さん（作曲）は「音楽が武器であることを痛感しました。音楽療法士への夢に向かって一歩近づくことができました」。